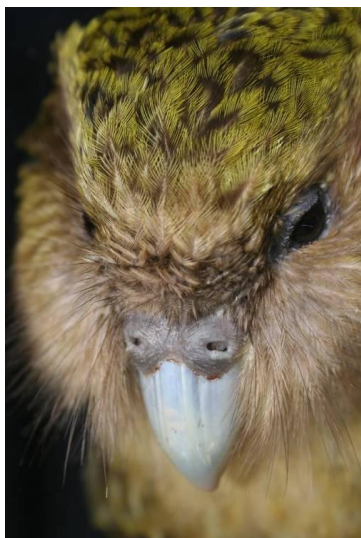


BiredLife News-Byte

2009 年 2 月 16 日



©Whereisbrent / Flickr

レンジャーによるカカポの奇跡的な発見が、絶滅危惧 I A 類の特産オウムの個体数を増加させました。

22 年振りにカカポを発見： カカポ・レンジャーによる 22 年ぶりの発見が絶滅危惧 I A 類の特産種のオウムの個体数を 91 羽に増加させました。飛べない夜行性のカカポはニュージーランドのシュアート島付近の 1,400 ヘクタールの保護区に 1987 年に放鳥された 4 羽のオスのうちの 1 羽でした。放鳥以来最近発見されるまで、この鳥は全く見られませんでした。以前はカカポが記録されなかった場所での、独特のこだまするようなメスを呼ぶ声は人気を沸かせています。

Fiji Petrel の死： NatureFiji-MareqetiViti(自然保護組織の名前)がまさに絶滅危惧 I A 類のフィジーミズナギドリ保護プロジェクトを進めようとしていた時、孤島のガウ島で地上に落ちたフィジーミズナギドリが発見されました。残念ながら、このメスの成鳥は死んでしまいました。この鳥は世界で 4 羽目の標本となり、保護活動を至急開始することを示しています。フィジーミズナギドリは 1984 年に再発見された種ですが、ガウ島の起伏のある高地のどこで繁殖しているのかはまだ分かっていません。NatureFiji-MareqetiViti は、彼らの保護活動を助けるための熱心で精力的なボランティアを募集しています。

Northern Bald Ibis ウェブサイト： Northern Bald Ibis の国際顧問グループが新しいウェブサイトを立て上げました。科学的調査と野外プロジェクトを支援し、政府と非政府組織(NGO)を結びつけることで、新しいウェブサイトはホオアカトキの保護と復活を進め、実行することを助けることを目的としています。

バードライフ・アフリカのニュースー： バードライフ・アフリカのパートナーシップの電子会報が新聞とは別にホットになっています。その内容はアフリカ大陸全域での保護活動の話題です。今四半期の版では以下の記事が掲載されています。

上部ギアナ森林の保護・

アフリカの絶滅危惧ハゲワシの保護

リオ・ティントおよびクリューガーの峡谷でのバーディング問題

シエラレオネでのハゲチメドリの保護

ウガンダで細菌発見された宝庫 Nabajjuzi 湿地

アフリカのオンライン WorldBirds その他

Google Ocean 開始： Google がつい最近視聴者が海面下を見ることが出来る新しいソフトを発表しました。これは現在海洋保護活動を困らせている‘見えないもの’即ち‘心理的に思考の外’にあることに取り組む助けになるはずです。普及している Google Earth に続く Google Sky の画面を伸ばすだけで、視聴者は地球表面の 3 分の 2 を占める地域へ潜って行けるのです。疑いなくこのソフトは海洋に関する知識を分かち合うための強力な道具になります。